

神石高原町バドミントン大会



と き 平成 17 年 12 月 11 日 (日)
 ところ 油木体育館
 各地区体育協会から代表選手 70 人が参加し、
 競技を行いました。
 試合や大会の運営をとおして、交流を深める
 機会となりました。

○団体戦の部
 優勝 油木 A 準優勝 三和 A

優勝した油木 A チーム

- 個人戦・男子の部
 優勝 佐藤 仁史・藤井 真 組 (油木)
 準優勝 谷口 伊宏・園道 正嗣 組 (神石)
- 個人戦・女子の部
 優勝 土居 智美・樋口 福江 組 (三和)
 準優勝 日野石智子・石井 朋美 組 (油木)

農林局地域営農課 ☎ 084-921-1311

1月

神石高原の12ヶ月の営農業

【基礎講座】 年開始にあたって

「1年の計は元日にあり」と言われています。農作業が一段落しているこの時期に、前年の反省と今年の計画をしっかり考えてみましょう。

前年は、気温が高くと雨が少ない傾向の年でした。そのため、水稲は一部で干ばつ被害やカメムシなど害虫の被害がありました。が、全体的には病気が少なく水稲の生育が良かったようです。結果的に、広島県の状況指数は1.0と発表されました。しかし、米価の低迷により経営収支は厳しい状態が続いております。今年は、さらにおいり米づくりにより、経営安定を考える年にしましょう。

気象

十一月四日から降雪が断続的に続き、十二月としては近年にない大雪となりました。早い時期の降雪のため、十一月の農作業が全然できなかつたようです。例年なら一月から二月にかけて、最も寒気が厳しい時期です。屋外での農作業はまず無理ですので、屋内での作業が中心となります。日頃できなかつた屋内のかたづけ、農作物の加工作業、經理の帳簿整理などを、この時期にやっておきましょう。

【今月の作付け】
 十一月から二月までは寒気が厳しいため、普通に作付けできるものではありません。

【今月のポイント】

野菜

《いも類の貯蔵》

じゃがいも、さつまいも、さといもなど貯蔵中のいも類は、これからの厳寒期に温度が下がるのが原因で、腐敗いもが増加します。

貯蔵適温が高い順に並べると、さつまいも十二〜十五度、さといも七〜十度、やまといも五〜七度、じゃがいも一〜五度となります。保温資材をもう一度点検し、モミガラやワラなどを加えて、しっかり覆うように

《野菜の漬物加工》

しまししょう。

漬け込み期間によって加える塩分濃度が変わります。濃度の目安は次のとおりです。

- 早漬け (一〜三日) 四%、早漬け (白菜、漬け菜) 五%、保存漬け (二カ月) 八%、保存漬け (三カ月) 十〜十三%、長期保存 (六カ月) 十三〜十五%

花き

《枝物のふかし栽培》

落ち葉の時期に集めておいたコキヤナギ、ウメ、モモなどの枝物は、これからふかし栽培して出荷する時期になります。

まず、枝の長さを七十〜九十cmに切りそろえて、数日間冷たい水で水上げします。これを二十度ぐらいに加熱した部屋に入れておくと、蕾がしだいに膨らんできます。出荷前には温度が五〜十度で光の入る場所に移し、徐々に光に慣らすと枝物がさらに良くなります。厳寒の時期に春の雰囲気を持つ、枝物を出荷してみましよう。